

# 読解力アップのための

さまざまな工夫を紹介します。

見本頁は、スーパースの関係で一部内容を割愛しています。

用例は教科書・入試問題によく出る著名古典から精選。全用例に現代語訳付き。

助詞・助動詞は「補説」で文法の要点を詳しく解説。

現代に残る古語のカタチなどを解説した「現代語とのつながり」。

覚えるべきポイントをまとめた「ポイント」付き。

読解力・語彙力を養成する「関連語」欄が充実。

## 【だに】「副助」

■体言・活用語の連体形、助詞などに付く。

①「最小限の限定」せめて…だけでも。例「我にいま一度、声をだに聞かせ給へ」(源氏物語) 私にもう一度、せめて声だけでも聞かせてください。

②「類推」…さえ。例「光やあると見るに、螢ばかりの光だになし」(竹取伝の源氏物語) 光があるかと思える、螢ほどの光さえない。

●補説「最小限の限定」「だに」は願望・仮定・意志・命令の文では、「最小限の限定」を表す。①の例文は願望の文である。一方、「願」命令に心にならざるに何かが別れの悲しからまし(古今・離別よる) (願)せめて命だけでも思いのままにならう、どうして別れが悲しくあつたかは、仮定の文である。

●類推「程度」程度の重いものを類推させる。例「低でせよ、まして高はし」という意を表す。②の例文では、「螢ばかりの光」「光が小さいこと」を表し、「小さい光さえないのなら、ましてそれより大きい光はない」と意を含蓄するに由来する。

●類推「願望」願望・仮定・意志・命令といった未定の事柄(まだ起こっていない事柄)を表す場合には、「最小限の限定」を表し、「下に打消を伴う場合は「類推」を表す。未定か、打消かで識別できる。

●補説「だに」は「言外のニュアンス」に注意「だに」は現代語では「想像だにしない」のように打消を伴う慣用表現として残っている。

●補説「だに」は「言外のニュアンス」に注意「だに」は現代語においては「想像だにしない」のように打消を伴う慣用表現として残っている。

●補説「だに」は「言外のニュアンス」に注意「だに」は現代語においては「想像だにしない」のように打消を伴う慣用表現として残っている。

## 新設 「逆引き活用形索引」

活用形から辞書を引くための

▼使い方の例

「あさましきこと。」とて、人ども、米とぶらひけれど、騒がず。  
(宇治拾遺物語「絵仏師良秀」より)

右の文章の傍線部「あさましき」をこの索引で引くと、「あさましの連体」とあります。辞書で引く形(終止形)は「あさまし」であるとわかります。

あいなかり	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく
あいなかり	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく
あいなかり	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく
あいなかり	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく	あいなけれ	あいななき	あいななく

▼この索引は、活用形から逆引きで辞書の見出し語を検索するためのものである。活用形を未習であっても、古文の本文中で見つけた形から、辞書を引くための基本形(終止形、ただし形容動詞の場合は語幹)が見つげ出せることを目的としている。また、同形の識別にも役立てられる。上段には活用形を、下段には終止形を太字で示し、さらに学習の便のために上段の活用形の名を示した。ただし、未然形「未然」、連用形「連用」、終止形「終止」、連体形「連体」、已然形「已然」、命令形「命令」と省略形で示した。

高校推薦数  
**NO.1**

# 三省堂 第五版 全訳読解古語辞典

さらに使いやすく。学習用古語辞典の最高峰！  
充実の最新決定版

古典学習のサポート機能をさらに強化!!  
鈴木一雄  
小池清治 [編者代表]

倉田実・石埜敬子  
森野崇・高山善行



### 三省堂 全訳読解古語辞典 第五版

鈴木一雄・小池清治 [編者代表]・倉田実・石埜敬子・森野崇・高山善行 編

普通版	B6判 1,488頁 本文2色刷 定価(本体2,800円+税) ISBN 978-4-385-13339-3
小型版	A6変型判 1,488頁 本文2色刷 定価(本体2,100円+税) ISBN 978-4-385-13340-9

三省堂 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14  
TEL 03-3230-9411(編集)・9412(営業) ホームページ <https://www.sanseido.co.jp/>

●大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 TEL 06-6341-2177  
●名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F TEL 052-953-9211  
●九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 TEL 092-531-1531・1532  
●札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15丁目2-1 ラスコム15ビル 3F TEL011-616-8722

